

学びのストーリー(単元の流れ)

授業デザイン

評価規準/評価方法

1次 クラス総合のテーマを決めよう!

- ◎総合の学び方を学ぶ
 - ・ドラマ作りをしたい。・DIYをしたい。・お祭りを開きたい。
 - ・ドラマは、長い時間をかけて作ることができそう。
 - ・DIYは、図工の学びを生かせるね。

活動計画を立てよう!

- ◎探究の道筋をつける。
 - ・どんな順番で活動しようか。
 - ・まずは、どんなドラマにするのか決めなきゃね。
 - ・台本を作ってから、撮影して、編集する流れだよ。
 - ・できたドラマを誰に見せる?

2次 オリジナルドラマの内容を決めよう!

- ◎自分たちのやりたいことを明確にする。
 - ・見ている人を楽しませるコメディードラマにしたいな。
 - ・見ている人を感動させるドラマが作りたい。
 - ・青春ドラマの要素を入れてみたいな。
 - ・それぞれの要素を混ぜても良いんじゃない?

キャラクターデザインを考えたい!

- ◎ドラマの設定を考える。
 - ・登場人物を考えよう。
 - ・人物の設定や性格を考えないと、台本を書けないね。

台本を考えよう!

- ◎分担して、ドラマのストーリーを考える。
 - ・まずは大まかなストーリーを考えたいな。
 - ・どうやってみんなで台本を作る?
 - ・グーグルドキュメントで共有して作ればいいんじゃない?

ドラマの練習をしたい!

- ◎自分の役割を把握し、ドラマの撮影に向けて練習をする。
 - ・自分のセリフを覚えなきゃ。
 - ・衣装や小道具も用意したいな。

撮影をしよう!

- ◎各シーンの撮影をする。
 - ・どんな順番で撮影する?
 - ・登場人物が重なっていないところから撮影していこう!

ドラマの編集をしよう!

- ◎できた動画を組み合わせて、編集し、ドラマを完成させる。
 - ・シーンの境目は、どのようにして切り替える?
 - ・ここは字幕を入れたほうがいいんじゃない?
 - ・セリフが聞こえづらいよ。もっとゆっくり言った方がいいよ。

3次 ドラマ完成!公開の日や、宣伝方法を考えたい!

- ◎誰にドラマを見せるのかを確認し、公開までの手順を考える。
 - ・親や、下級生に見せるんだってよ。
 - ・いつ、どうやって見せようか。
 - ・宣伝方法は?

自分たちの作ったドラマを公開して、感想をもらいたい!

- ◎ドラマを公開し、感想をもらう。
 - ・楽しんでもらえるかな。
 - ・感想をもらいたいね。

1年間の総合の学びを通して、自分たちにはどんな力がついたのかな?

- ◎探究的な学びを通して、身に付けた力を実感する。
 - ・自分たちの思いを実現するために、話し合ったり、みんなの意見をまとめたりすることができたね。

響き合う

クラスみんなでどのような活動をしたいのか、自分が何を学びたいのかなどについて、まずは自分の思いを持ち、話し合いに参加することができるようにする。

高め合う

自分たちが目指すゴールに近づくためには、何をどのような順番で進めたらよいか、全体で話し合い、自分たちの力で探究の道筋をつける。その後の活動を、見通しをもって取り組むことができるようにする。

手立てや概念

児童が発言した内容を整理して板書し、どうすればより良いドラマを作ることができるかを分析させる。

響き合う

「見ている人を楽しませたい。感動させたい。」という自分たちの思いを実現するために、相手意識をもった発言を価値づける。

自己調整

登場人物の性格や、台本を考えるために、必要な情報を集めながら、適したツールを使うことができるようにする。

手立てや概念

台本を考える際には、ドキュメントを共有する方法があることを伝え、常にみんなで共有しながら台本作成を行うことができるようにする。

手立てや概念

総合学習においては、「トライ&エラー」が大切であることを伝え、取り組んだ結果から改善点を見出す姿勢を育てていく。

自己調整

撮影や編集において、自分の役割をはっきりさせる。今自分がやるべきことを毎時間確認させ、何をしたらいいのか分からない状態にならないように、今自分ができることを考えさせる。

響き合う

自分たちが楽しむだけでなく、「見る人を楽しませる」という視点で言った意見を価値づけ、そのような発言が広がるように働きかける。

高め合う

自分たちの作りたいドラマになっているかを、撮影や編集の途中で何度か再確認をすることができる時間を作り、より楽しいドラマになるようにはどうしたらよいかを話し合わせる。

高め合う

自分たちで完成させたドラマの公開や宣伝の方法を理由付けをしながら話し合い、誰もが納得できる方法を見出すことができるようにする。

自己調整

1年間の学びを振り返り、自分にはどのような力が付いたのかを考え、この先も探求的に学ぶことができるように動機づけする。

【思考・判断・表現】

・総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えることができる。

【知識・技能】

・ドラマづくりのために必要な情報を自分なりの方法で調べている。

【思考・判断・表現】

・課題解決のために集めた複数の情報を、比較したり、関連付けたりしながら分析し、実際に取り組む内容を具体的に考えている。

【学びに向かう力・人間性】

・友達と協働して、台本を考えたり、ドラマの撮影・編集をしようとしている。

【学びに向かう力・人間性】

・自分たちが作ったものを発信する相手や目的を意識して、よりよいドラマにするために粘り強く取り組もうとしている。

【思考・判断・表現】

・発信する相手や目的に応じて、ドラマの内容について考えを持ち、その考えを表出している。

【知識・技能】

・発信をするために、必要なツールを選択し、適切に使用することができる。

【学びに向かう力・人間性】

・探究の過程を振り返り、総合の学びの良さを再確認し、今後に生かそうとしている。

願う子どもの姿

- ・自分たちで決めた総合のゴールのたどり着くために、何をどのような順番で行っていくべきか、自分たちで道筋を考えられる姿。
- ・活動への強い思いを表出し、話型を越えた自分の言葉での響き合いをすることで、よりよい活動へと高めしていくことができる姿。
- ・自分の思いを実現するために最適な手段は何かを自ら判断し、ツールの一つとしてICTを効果的に活用することができる姿。